

新辞典より代を映すキワド9004 PDF转换可能丢失图片或格式，建议阅读原文

[https://www.100test.com/kao\\_ti2020/131/2021\\_2022\\_\\_E6\\_96\\_B0\\_E8\\_AA\\_9E\\_E8\\_BE\\_9E\\_E5\\_c95\\_131262.htm](https://www.100test.com/kao_ti2020/131/2021_2022__E6_96_B0_E8_AA_9E_E8_BE_9E_E5_c95_131262.htm) 金融の新しい姿 インストアブランチ「instore branch」 スパなどの小店内に行や券会社などが出店する店内店.出店コストを抑制しつつ，の延などで利便性を向上させ，人客得を狙う。1997（平成9）年の金融の出店制和で可能となった。 インブランチ-ストア インタネットぎんこう「インタネット行」 インタネットを利用して振替金受入などのを行う行。金の出し入れはATMを利用するが，店をもたず他行のATMを利用するインタネット行もある。オンライン行。ネット行。ネット-バンク。 インタネットバンキング「internet banking」 行口座の残高照会や振りみなどのサービスを，インタネットを通じて受けられるシステム。 インブランチストア〔（和）in-branch + store〕 行の店内に入居するの店。 インストア-ブランチ インベストメントバンク「investment bank」 券引き受けや企（M & A）を行う金融者。投行とも呼ばれるが，リテルなどの通常の行は行わない。 きんゆうこうがく「金融工学」 高度な数学的手法やコンピュータを用い，デリバティブなど金融商品のやリスク管理を行う技. けっさいせんもんぎんこう「行」 企向け出を行わず人ののみに特化した行。 国などロ-リスク商品での用益とサービス手数料で事を成立させる。 しょうけんか「券化」〔securitization〕を，流通しやすくするため券の形にすること。 抵当券，CP（コマシャル-ペパ）など。 金融の券化。 デットエクイティス

ワップ「debt equity swap」〔DESと略される〕(1) 第三者割当の手法の一。多のを抱える不振企が、免除と引きえに取引金融に自社株式を引き受けてもらう手法。放に比べ、金融の却担をでき、事会社にとっては削とともにで本を化できる利点がある。の株式化。(2) 展途上国の外を国内ないし投用地通にすることで、累をし、国内の建て直しをる方法。外国企が金融からを入し、国の中央行に却し、代金を国への投金にあてる。デビットカード「debit card」〔デビットは会用で借方の意〕い物の代金が点で金口座から引き落とされるカード。日本では行POSがあったが、1998年(平成10)から「デビット」という名でサービスが始まり、2000年3月、本格スタート。でんしマネ「子マネ」金の代わりにコンピュータ-ネットワーク上やICカードを利用してすること。カード造の防止や暗号技など安全性の立が、子マネ用化の子布。プライベートバンキング「private banking」金融のの一。人家を象として、金融情の提供や用などを行い、合的にを管理するサービス。ホルセルバンキング「wholesale banking」大企や投家、政府公共体など大口の客を象とする行形のこと。卸金融とも。リテル-バンキングまどはん「」口の略。投信保商品など、これまで行などが取りうことができなかった金融商品を行口ですること。金融ビック-バンで可能となった。メガバンク「megabank」持ち株会社方式などをうい行券保など幅い金融をかバする巨大合金融会社。制和で世界中で国境を越えて合がんでいる。に、大行どうしの合合をいう合もある。ユニバサルバンク〔(和) universal + bank〕行のみならず、券生保といった金融の幅い

を客に提供できる行。リテールバンキング「retail banking」  
大企業などの大口客を対象とするホールセル-バンキングにし、中  
小企人向けの行のこと。100Test 下载频道开通，各类考试题目  
直接下载。详细请访问 [www.100test.com](http://www.100test.com)